

八潮スタンダード (学習の流れ)

つかむ・見通す

- 課題(めあて)を明確にする
 - ・前時との比較、既習事項の想起
 - ・身の回りの事象と関連付ける
- 学習意欲を喚起する
 - ・課題解決の必要感をもつ
- 解決の見通しをもつ

指導のポイント

- 短い時間で効率よく行う
- 前時のまとめを想起させる
- できる限り子どもたち自身に気づかせ、主体的な学びとなるように工夫する
- 情報の整理・理解をする
 - グラフ、データ、図表、心情、具体物、ICTなど

考える

- 見通しに基づいて実行する
 - ・既習事項を活かして自分なりの方法で考える
 - ・様々な表現を工夫する
 - ・自分でじっくりと書く、読み込む
 - ・自分の考えを見直す

指導のポイント

- 考える視点を明示する
 - 考える時間を確保する
 - 解決につながる考え方や手立て
 - ・ヒントカード ・ワークシート
 - ・キーワード、キーセンテンス
 - ・具体物の提示 ・スキット など
- ※言葉を使って考えを表すように指導する

深める

- 対話的な学びで課題の解決を図る
 - ・自分の考えを説明する
 - ・友達の考えを説明する
- よりよい方法を考える
 - ・友達の考えを参考に自分の考えを手直しする
 - ・より簡潔で分かりやすい表現にする
- 発展課題に取り組む

指導のポイント

- 友達の考えを聞くときの留意点
 - ・自分の考えと比べて聞く
 - ・友達の意見と比べながら自分の意見を伝える
 - 話し合いの視点の明確化を図る
 - 1 何のために(ねらい)
 - 2 何について
 - 3 方法、進め方は
 - 4 話し合ったことをどうするのか
- ※ペア、グループから全体へとつなげる
指導者の働きかけ
※ペアやグループなどの形態を目的に応じて取り入れる

まとめる

- 課題(めあて)に沿ってふり返る
- 適用問題や評価問題で理解度を確かめる
- 新たな課題を見出す

指導のポイント

- キーワード、公式などの提示
 - 児童生徒の言葉を活かしてまとめる
- 適用問題や評価問題に取り組む
 - ・自分の達成度・理解度を確かめる
 - ・定着を図る
- 家庭学習へとつなげる
- 次時への意欲を喚起する